

# 204削除の一般形(13)(14)

## 削除の一般形(13)(14)

### delete

テーブル上のあるデータが、不用になったとき、その行は削除されねばならない。こう した時、命令 delete が使われる。この命令の一般形は次の形である。

delete from テーブル名  
where 削除条件

もし、where句を省略すれば、そのテーブルの全ての行が削除されてしまうので注意が 必要である。

### 例 13: 不用な行の削除

delete from 従業員横浜市在住4  
WHERE (従業員番号 = 33);

この時、テーブルは次のようになる。

select \* from 従業員横浜市在住4;

| 部門名          | 従業員番号 | 部門番号 | 氏名    | 住所  | 年齢 | 定年までの残り年数 | 電話番号         | 郵便番号     |
|--------------|-------|------|-------|-----|----|-----------|--------------|----------|
| 土浦工場生産部門ライン2 | 31    | 5    | 坂上次郎  | 横浜市 | 23 | 42        | 000-000-0000 | 231-0854 |
| 下妻工場生産部門ライン1 | 35    | 8    | 桜谷由香里 | 横浜市 | 18 | 47        | 000-000-0000 | 231-0854 |

deleteでも、where句に様々な条件を書くことが出来る。

### 例 14: where 句で複数の行を指定

/\* 年齢が30歳以下の従業員のデータを削除 \*/  
delete from 従業員横浜市在住4 WHERE (年齢 <30 );  
select \* from 従業員横浜市在住4;

| 部門名 | 従業員番号 | 部門番号 | 氏名 | 住所 | 年齢 | 定年までの残り年数 | 電話番号 | 郵便番号 |
|-----|-------|------|----|----|----|-----------|------|------|
|     |       |      |    |    |    |           |      |      |